

## MUSEデコーダー

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告** 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 目次

本機的主要な特長 .....	2
安全のために .....	3
使用上のご注意 .....	6
各部の名称と働き .....	7
前面 .....	7
画面表示 .....	7
裏面 .....	8
リモートコマンダー .....	9
電池の入れかた .....	9
接続する前に .....	10
MUSE機器をつなぐ .....	10
テレビ・モニターなどをつなぐ .....	11
その他の機器をつなぐ .....	12
ハイビジョン放送を見る .....	13
音声モードについて .....	14
ハイビジョンのレーザーディスクやビデオを見る .....	16
MUSE機器の種類を表示する .....	17
MUSE出力を設定する .....	18
予約録画の内容を設定する .....	19
予約録画する(VTR連動) .....	20
入力を固定する .....	21
お知らせガイド一覧 .....	22
故障かな?と思ったら .....	23
主な仕様 .....	24
使用上のご注意 .....	26
ハイビジョンについて .....	25
安全点検リスト .....	26
保証書とアフターサービス .....	裏表紙

お使いになる前に

準備編

操作編

その他

## MSC-4000



# 本機の主な特長

- ハイビジョン放送の音声形態は、ステレオ2系統や4チャンネル(3-1)方式など多種類にわたりますが、そのすべてに対応しております。
- ハイビジョンの音声信号は、音声切り換え選択回路を通った5チャンネル出力端子(モニター用音声出力)と、録音用として5チャンネル出力に加え、音声切り換え選択回路を通過していない4チャンネル出力端子とセンター、サラウンドを合成した2チャンネル出力をメニュー画面で切り換えられるビデオ用音声出力端子があります。5チャンネル出力では、放送音声に応じて右、左、センター、サラウンド右、サラウンド左の5つの出力端子から適切に音声信号が出るようになっています。5チャンネルのアンプ、およびスピーカーに接続してお楽しみください。また、通常の2チャンネルのアンプ、スピーカーでもお楽しみいただけるように、右左の2チャンネルのみに接続した場合にはセンターとサラウンド音声成分が合成されて出力されるようになっております。スピーカーの位置については「ハイビジョンについて」のスピーカー配置例を参照してください(25ページ)。
- ハイビジョンの映像信号は、YPbPr形式でもGBR形式でも出力できます。
- VTR連動機能が付いていますので、ハイビジョン放送の予約録画ができます。

# 警告 安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故がおきないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

この注意事項をよくお読みください。

## 定期的に点検する

お買い上げ時とそのあと1年に1度は「安全点検リスト」に従って点検してください。

## 故障したら使わない

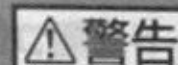
すぐにお買い上げ店またはソニーのサービス窓口へ修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

- |  |  |                               |
|--|--|-------------------------------|
| • 煙が出たら<br>• 変なおいや音がしたら<br>• 内部に水などが入ったら<br>• 内部に異物が入ったら<br>• 本製品を落としたり、<br>キャビネットを破損した<br>ときは |  | ① 電源を切る                       |
|  |  | ② 電源プラグをコンセントから抜く             |
|  |  | ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口へ修理を依頼する |

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家具に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号







**警告**



火災



感電

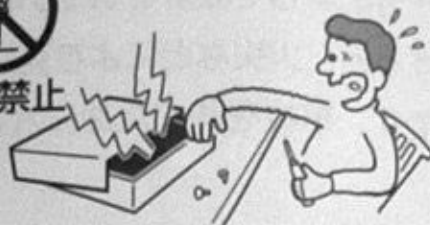
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

### 内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、天板を開けたり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

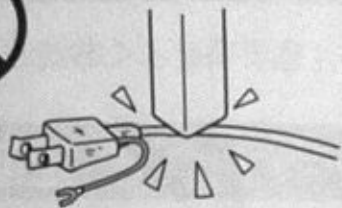


### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。万一電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

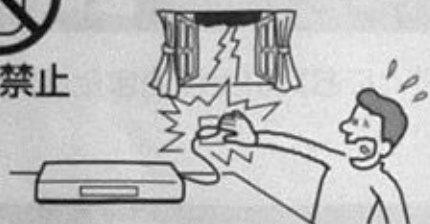


### 雷が鳴りだしたら、使用を中止し本機から離れる

感電の原因となります。

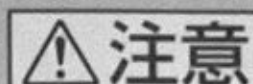


接触禁止



### 付属の電源コードを使用する

それ以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。



**注意**

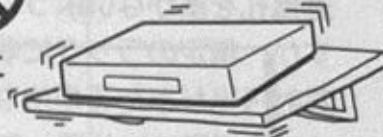
下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。



禁止



### 移動させるときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。



プラグをコンセントから抜く



### 電源プラグをつなぐのは周辺機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。周辺機器との接続が終わってから、壁のコンセントに差ししてください。

壁側コンセントから抜きませんと感電することがあります。また、抜くときは必ずコードでなくプラグをもって抜いてください。

### ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



接触禁止



### 旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く



# 使用上のご注意

## 設置について

- ・ 設置の際は下記のことをお守りください。  
 通風孔を塞がないように、壁から5cm以上離すか、指定のラックに収納する  
 直射日光が当たる場所など、温度が異常に高くなる場所には放置しない  
 油煙、湯気、ほこりの多い場所には置かない  
 海岸、水辺、雨天や降雪時の窓辺など、水のある場所には置かない

## 取り扱い上のご注意

### 避けてほしい場所

本機を長い間お使いいただくためにつぎのような場所での使用および保存は避けてください。

- ・ 極端に暑い所や寒い所
- ・ 湿気の多い所
- ・ ほこりの多い所
- ・ 激しい振動のある所

### 放熱について

内部の温度上昇を防ぐため、上面および裏面に放熱孔がついています。ご使用中には次のことにご注意ください。

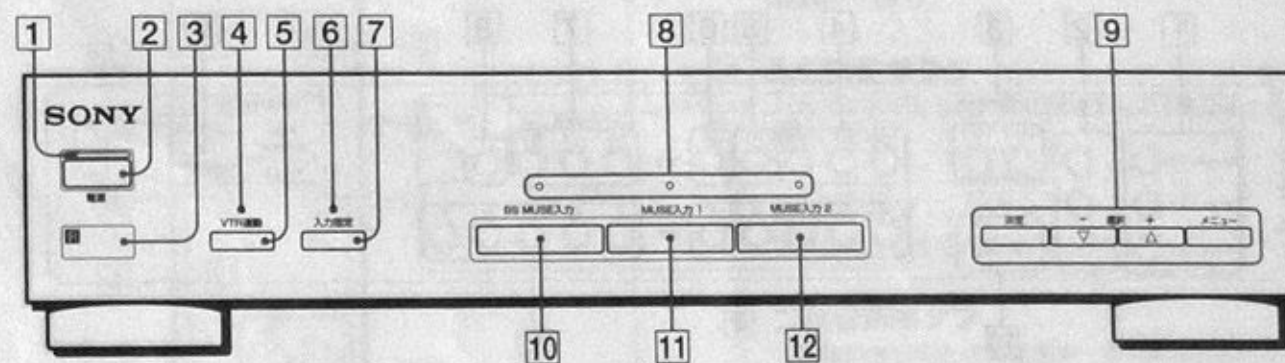
- ・ 放熱孔はふさがらないでください。
- ・ ラックに収納する際は通気に充分お気をつけください。
- ・ UHF/VHFのテレビチューナーやビデオなどと重ねると、妨害を与える可能性があります。できるだけ離して置いてください。

### お手入れ

キャビネットは、柔らかい布でおふきください。キャビネットの汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤液に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふきとります。このあと乾いた布でカラふきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためますので使わないでください。

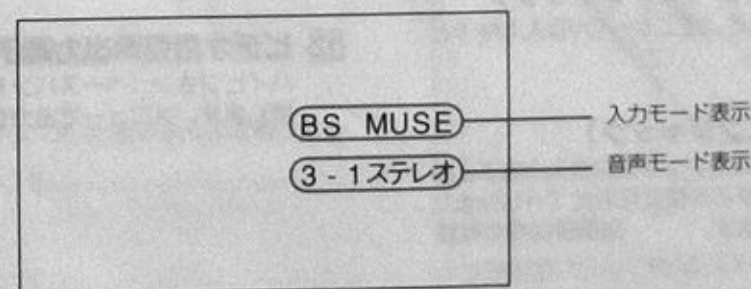
# 各部の名称と働き

## 前面



- 1 電源ランプ**  
電源が入っているときに点灯します(緑色)。
- 2 電源ボタン**  
電源を入/切するときに押します。
- 3 リモコン受光部**  
リモコンからの信号を受けます。
- 4 VTR連動ランプ**  
本機がVTRと連動しているとき、または連動待機中に点灯します(赤色)。
- 5 VTR連動ボタン**  
VTR連動機能を使って、つないだハイビジョンビデオデッキでハイビジョン放送の予約録画をするときに使います。
- 6 入力固定ランプ**  
入力を固定しているときに点灯します(黄色)。
- 7 入力固定ボタン**  
録画中、誤動作により入力モードが変わらないようにするため、入力状態を固定するときに押します。
- 8 入力モード表示ランプ**  
現在選択している入力モードが点灯します(緑色)。
- 9 メニューボタン**  
(決定ボタン、選択+/-ボタン、メニューボタン)  
メニュー画面で各種の選択をするときに押します。
- 10 BS MUSE 入力ダイレクトボタン**  
BS MUSE 入力端子につないだ機器を選択するときに押します。
- 11 MUSE 入力1ダイレクトボタン**  
MUSE 入力1端子につないだ機器を選択するときに押します。
- 12 MUSE 入力2ダイレクトボタン**  
MUSE 入力2端子につないだ機器を選択するときに押します。

## 画面表示



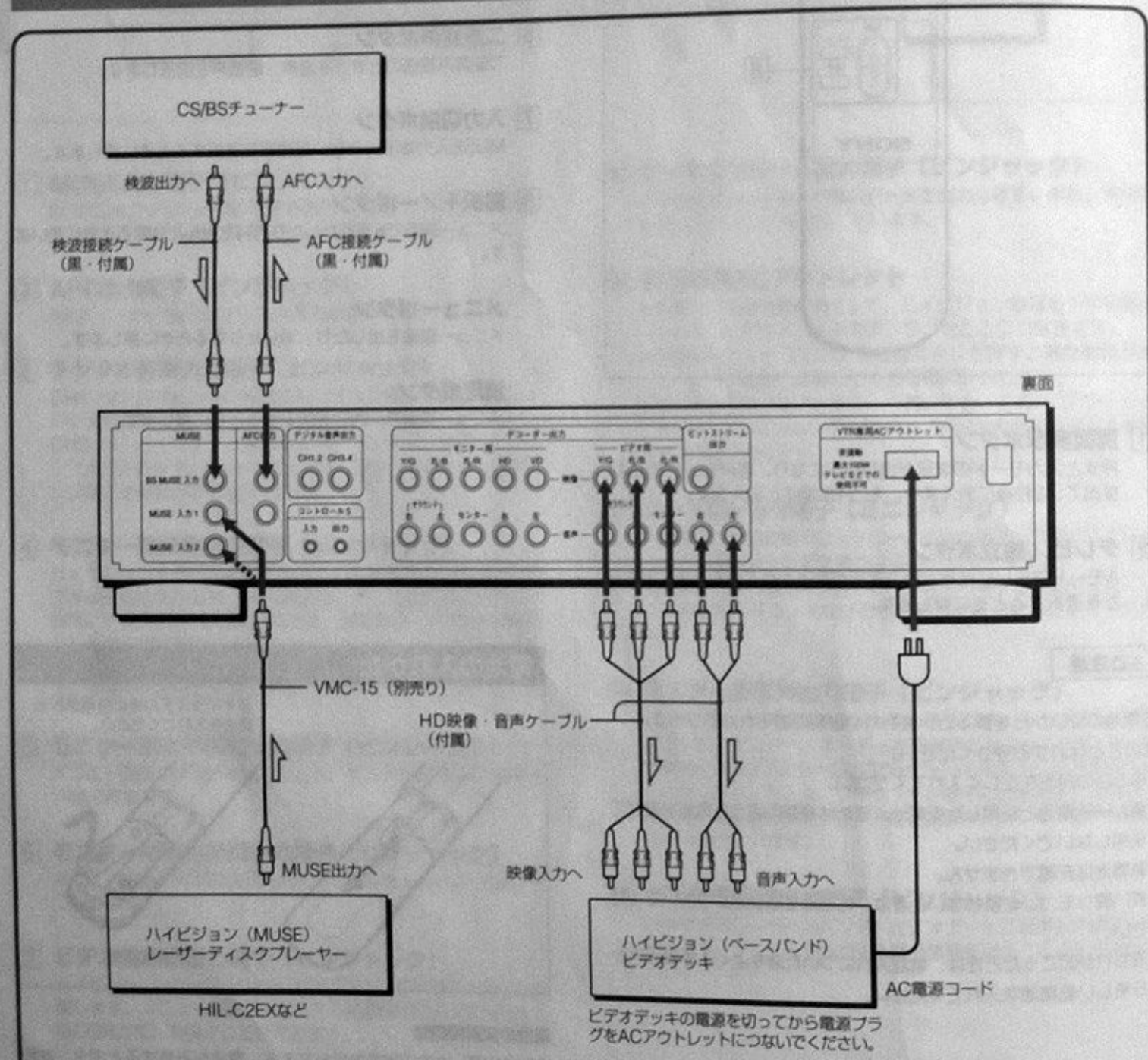


## 接続するときは

- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。ケーブルと端子の色を合わせてつないでください。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 複数の機器をつないだら、お互いの干渉を防ぐために、お使いにならない機器の電源は切っておいてください。

- テレビ/モニターの画像や音に雑音が入るときは、つないだ機器とお互いを充分離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

# MUSE機器をつなぐ



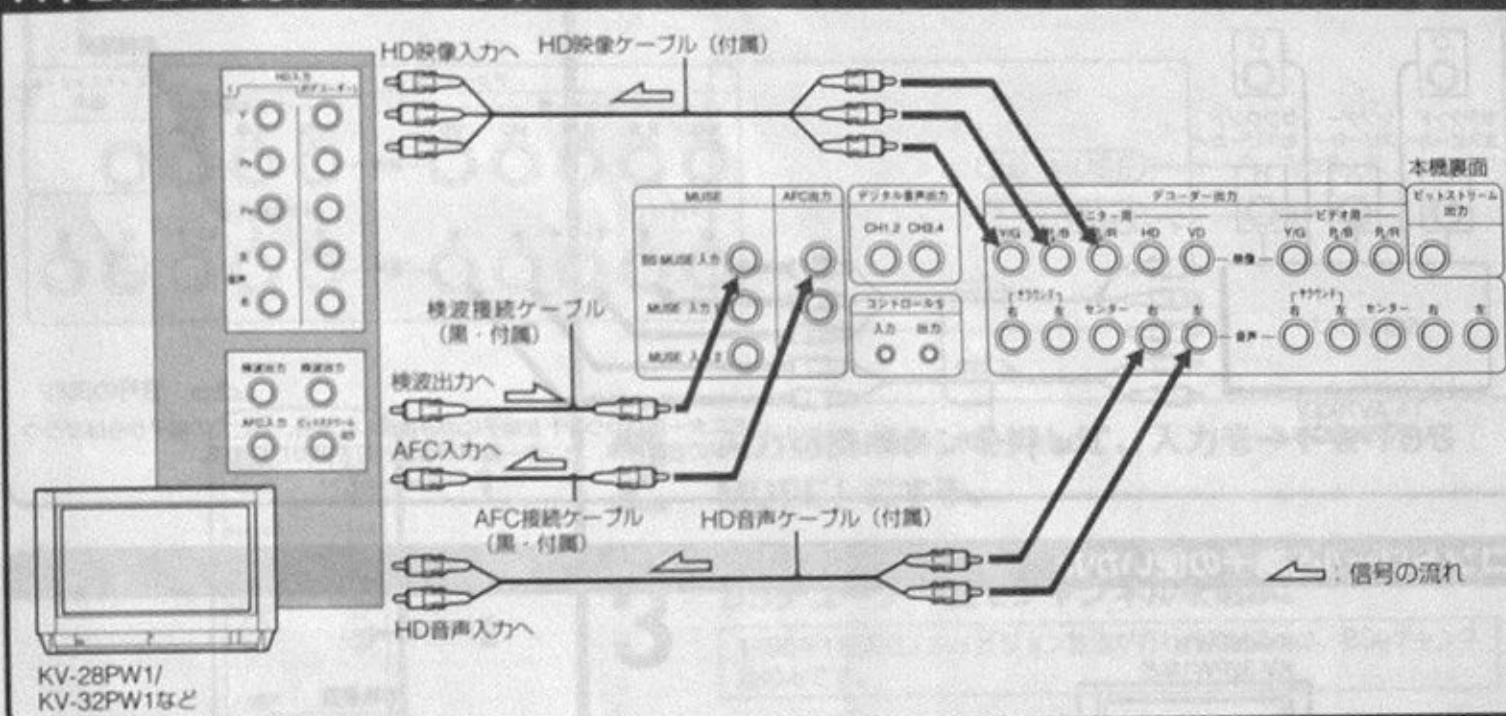
### ビデオ用サラウンド左出力端子について

ビデオ用サラウンド右出力端子につながらない場合、サラウンド左とサラウンド右の音声は合成されて出ます。

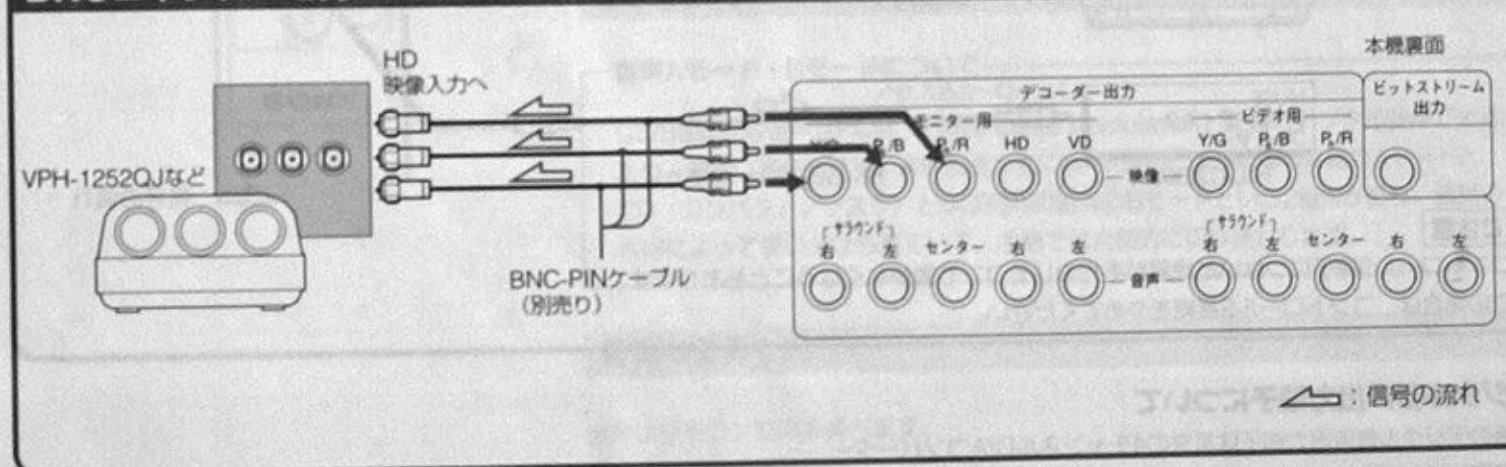
☞ : 信号の流れ

お手持ちのハイビジョン対応機器の端子にしたがって接続してください。

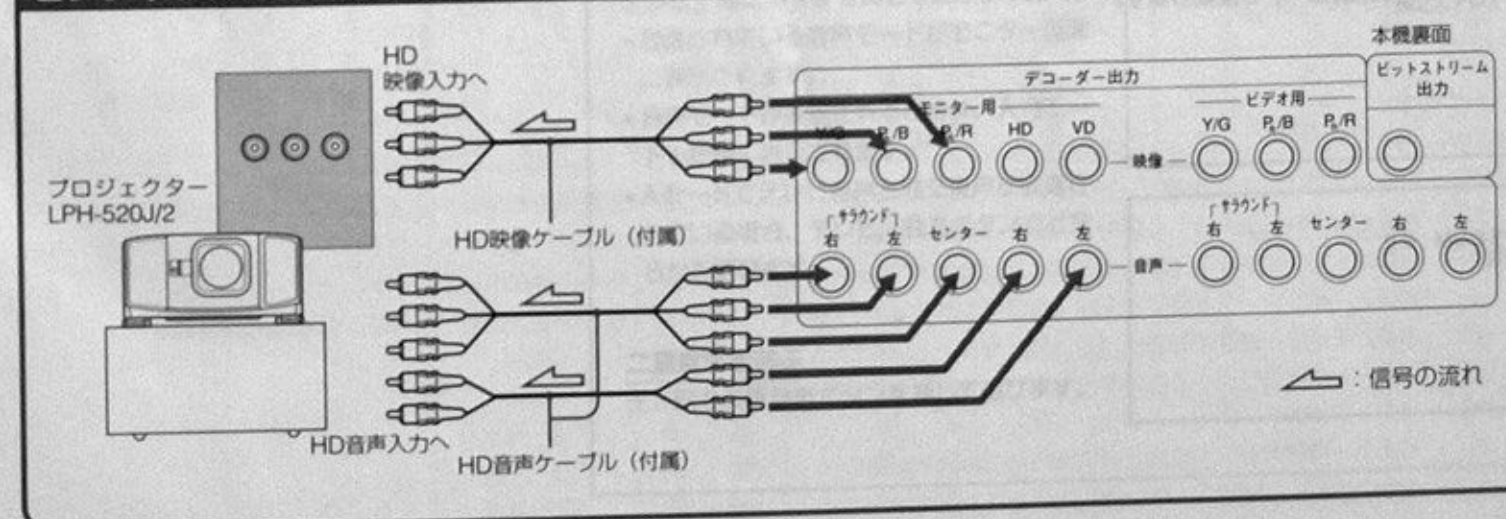
## ハイビジョン対応テレビにつなぐ



## BNCコネクターを持つハイビジョン対応プロジェクターにつなぐ

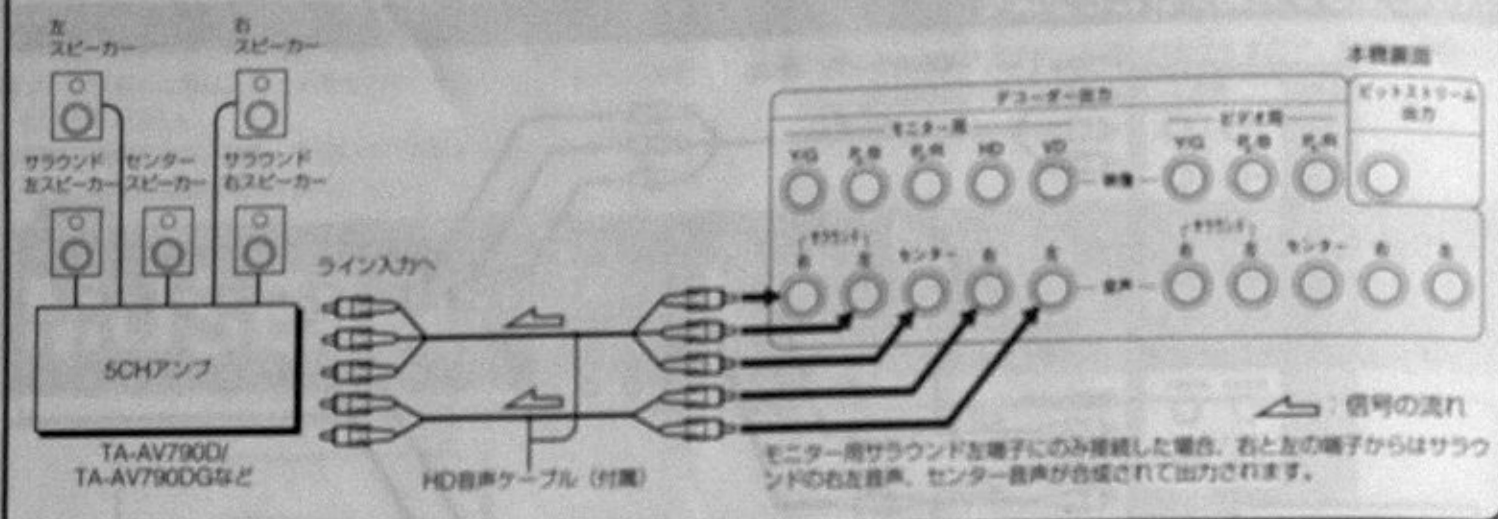


## ピンジャックを持つハイビジョン対応プロジェクター/モニターにつなぐ

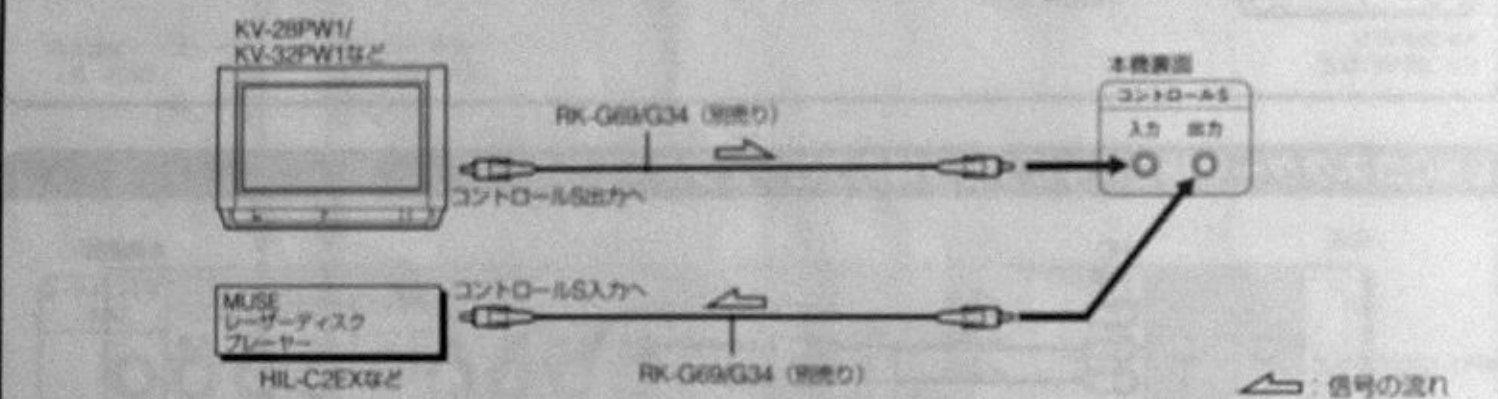




## モニター用出力/音声5端子につなぐ場合



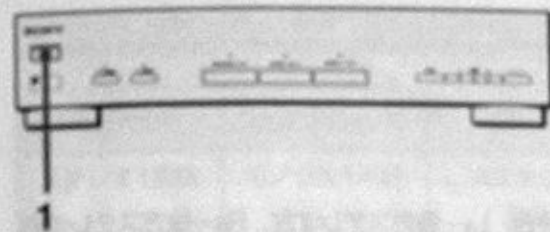
## コントロールS端子の使いかた



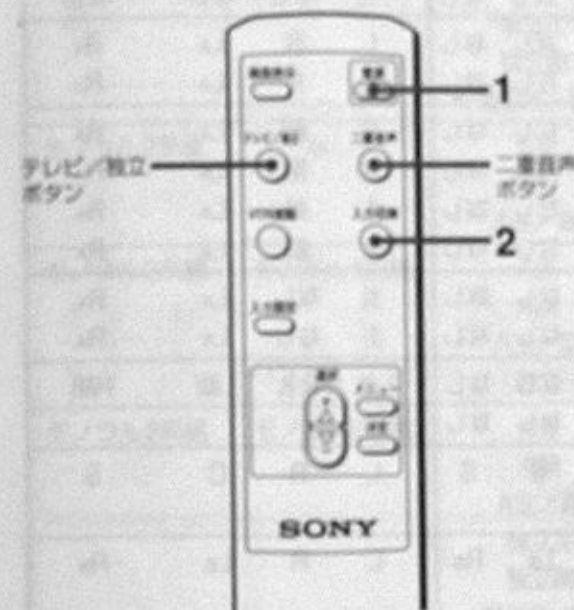
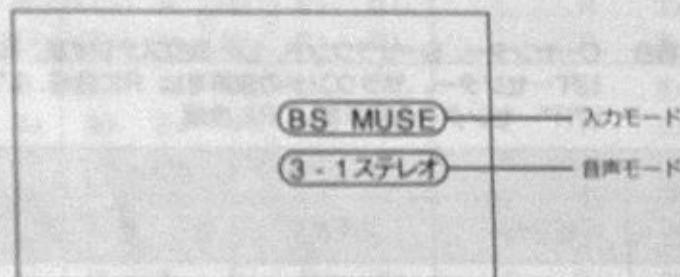
**ご注意**  
コントロールS端子につないだ機器が手元のリモコンで動かなくなることもあります。この場合は、コントロールS接続をやめてください。

## デジタル音声出力端子について

本機のデジタル音声出力端子は従来の4チャンネルD/Aコンバーター内蔵アンプなどとの接続時に使用します。  
本機のデジタル音声出力端子とアンプのデジタル同軸入力端子をピンプラグタイプの接続コードで接続します。



**1** 本機とBSチューナーの電源を入れる。  
モニター画面に入力モードと音声モードが表示されます。



**2** 入力切換ボタンを押して、入力モードを「BS MUSE」にする。

**3** BSチューナー側でチャンネルを選ぶ。  
1996年1月現在、ハイビジョン放送が行われているのは、BS9チャンネルのみです。

## 衛星放送の音声モードとは?

音声Aモード・Bモードについて  
CS/BS放送の音声はPCM (Pulse Code Modulation) 変調のデジタル音声であるため、非常に高音質です。音声伝送方式にはFM放送とほぼ同等の音質のAモードと、CD (コンパクトディスク) とほぼ同等の音質のBモードという2種類があり、番組の内容によって使い分けられていて、本機では自動的に切り替わります。

## 好みの音声を選ぶ

音声はリモコンでのみ選べます。

### 音声モードを選ぶ

テレビ/独立ボタンを押して選びます。  
• 放送されている音声モードがモニター画面に表示されます。  
• 音声モードが表示される時は、入力モードも同時に表示されます。  
• Aモードでテレビ音声と独立音声が発送されている場合、テレビ/独立ボタンでどちらかを選びます。

BS MUSE  
独立ステレオ

### 二重音声を選ぶ

主/副を二重音声ボタンを押して選びます。

BS MUSE  
主



# 音声モードについて

## MUSE入力の音声モードと、本機出力の関係

ハイビジョン放送または外部MUSE信号入力時に、音声信号の種類によって本機から出力される信号が下表のように換わります。表には代表的な例が載せてあります。

■Aモードの場合 C…センター、S…サラウンド、L<sub>A</sub>…独立ステレオ左、R<sub>A</sub>…独立ステレオ右、L<sub>B</sub>…後方ステレオ左、R<sub>B</sub>…後方ステレオ右  
L'R'…センター、サラウンドの音声を入、Rに合成、L'R'…サラウンドの音声を入、Rに合成  
L''R''…センターの音声を入、Rに合成

テレビ音声	独立音声	画面表示	2CH*		5CH**			4CH***					
			左	右	左	右	センター	サラウンド		左	右	センター	サラウンド左
ステレオ1系統	なし	Aステレオ	L	R	L	R	なし	なし	なし	L	R	なし	なし
モノラル1系統	なし	A	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	なし	なし	なし
ステレオ1系統	ステレオ1系統	Aステレオ 独立ステレオ	L	R	L	R	なし	なし	なし	L	R	L <sub>A</sub>	R <sub>A</sub>
モノラル2系統	ステレオ1系統	A主 A副 A主/副 独立ステレオ	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	副	L <sub>A</sub>	R <sub>A</sub>
モノラル1系統	ステレオ1系統	A主 独立ステレオ	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	なし	L <sub>A</sub>	R <sub>A</sub>
ステレオ2系統	なし	主ステレオ 副ステレオ	L主	R主	L主	R主	なし	なし	なし	L主	R主	L副	R副
4chステレオ (3-1)	なし	3-1ステレオ	L'	R'	L	R	C	S	S	L	R	C	S
4chステレオ (2-2)	なし	2-2ステレオ	L'	R'	L	R	なし	L <sub>B</sub>	R <sub>B</sub>	L	R	L <sub>B</sub>	R <sub>B</sub>
3chステレオ	なし	3CHステレオ	L''	R''	L	R	C	なし	なし	L	R	C	なし
3chステレオ モノラル1系統	なし	3CHステレオ A副	L''	R''	L	R	C	なし	なし	L	R	C	副

### ■Bモードの場合

テレビ音声 (独立音声なし)	画面表示	2CH*		5CH**			4CH***					
		左	右	左	右	センター	サラウンド		左	右	センター	サラウンド左
ステレオ1系統	Bステレオ	L	R	L	R	なし	なし	なし	L	R	なし	なし
モノラル2系統	B主 B副 B主/副	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	副	なし	なし
モノラル1系統	B	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	なし	なし	なし

\* 2CH: 録音設定で「2CH」を選択したとき、ビデオ音声出力の左、右端子から出力される信号の内容を示しています。

\*\*5CH: 録音設定で「5CH」を選択したとき、ビデオ音声出力の左、右、センター、サラウンド左、サラウンド右端子および、モニター音声出力端子の左、右、センター、サラウンド左、サラウンド右端子から出力される信号の内容を示しています。

モニター用音声出力端子は、左右端子にしか接続しない場合には2CH接続時の音声出力になります。5CHすべてに接続した時に5CH分の音声出力が得られます。

\*\*\*4CH: 録音設定で「4CH」を選択したとき、ビデオ音声出力の左、右、センター、サラウンド左端子から出力される信号の内容を示しています。

サラウンド右端子からは、何も出力されません。

14ページに掲載されている音声モード以外にも、下表のようなものが考えられます。本機ではすべての音声モードに対応しています。

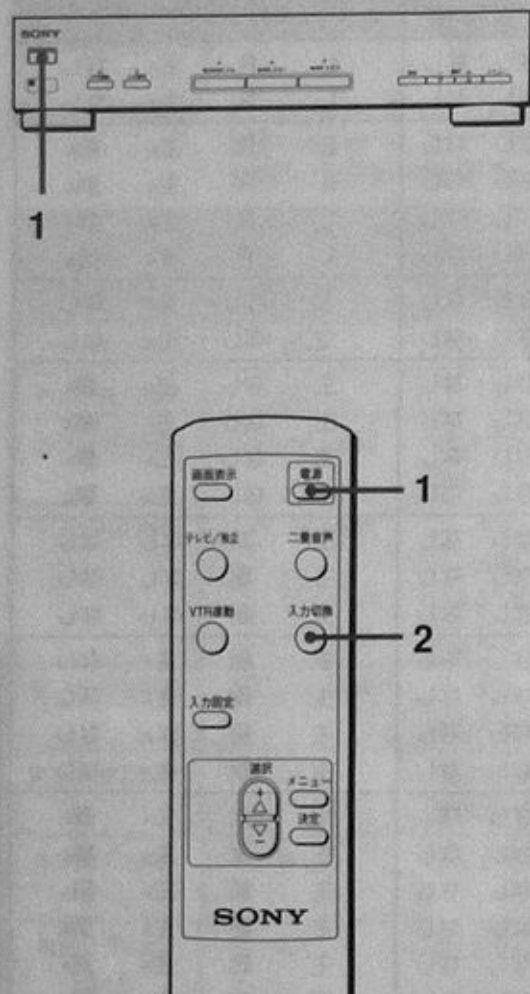
Aモード		画面表示	2CH		5CH			4CH					
テレビ音声	独立音声		左	右	左	右	センター	サラウンド		左	右	センター	サラウンド左
ステレオ1系統	モノラル1系統	Aステレオ 独立	L	R	L	R	なし	なし	なし	L	R	主 <sub>A</sub>	なし
ステレオ1系統	モノラル2系統	Aステレオ 独立主 独立副 独立主/副	L	R	L	R	なし	なし	なし	L	R	主 <sub>A</sub>	副 <sub>A</sub>
モノラル1系統	モノラル1系統	A 独立	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	なし	主 <sub>A</sub>	なし
モノラル1系統	モノラル2系統	A 独立主 独立副 独立主/副	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	なし	主 <sub>A</sub>	副 <sub>A</sub>
モノラル2系統	なし	A主 A副 A主/副	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	副	なし	なし
モノラル2系統	モノラル1系統	A主 A副 A主/副 独立	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	副	主 <sub>A</sub>	なし
モノラル2系統	モノラル2系統	A主 A副 A主/副 独立主 独立副 独立主/副	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	副	主 <sub>A</sub>	副 <sub>A</sub>
なし	モノラル1系統	独立	主 <sub>A</sub>	主 <sub>A</sub>	主 <sub>A</sub>	主 <sub>A</sub>	なし	なし	なし	なし	なし	主 <sub>A</sub>	なし
なし	モノラル2系統	独立主 独立副 独立主/副	主 <sub>A</sub>	主 <sub>A</sub>	主 <sub>A</sub>	主 <sub>A</sub>	なし	なし	なし	なし	なし	主 <sub>A</sub>	副 <sub>A</sub>
なし	ステレオ1系統	独立ステレオ	L <sub>A</sub>	R <sub>A</sub>	L <sub>A</sub>	R <sub>A</sub>	なし	なし	なし	なし	なし	L <sub>A</sub>	R <sub>A</sub>
ステレオ1系統 モノラル1系統	なし	Aステレオ A副1	L	R	L	R	なし	なし	なし	L	R	副1	なし
ステレオ1系統 モノラル2系統	なし	Aステレオ A副1 A副2	L	R	L	R	なし	なし	なし	L	R	副1	副2
モノラル3系統	なし	A主 A副1 A副2 A主/副1 A主/副2	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	副1	副2	なし
モノラル4系統	なし	A主 A副1 A副2 A副3 A主/副1 A主/副2 A主/副3	主	主	主	主	なし	なし	なし	主	副1	副2	副3

主<sub>A</sub>: 独立音声の主音声、副<sub>A</sub>: 独立音声の副音声

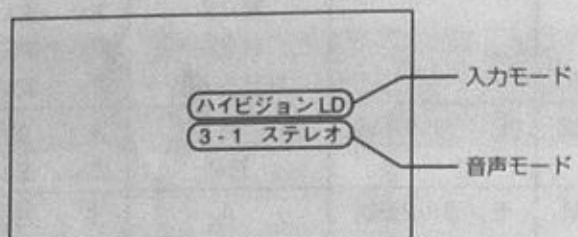


# ハイビジョンのレーザーディスクやビデオを見る

本機とつないであるハイビジョンのレーザーディスクプレイヤーやビデオデッキで再生した映像を見ることができます。詳しい操作方法などは、つないである機器の取扱説明書をお読みください。



**1** 本機と、つないである機器の電源を入れる。  
モニター画面に入力モードと音声モードが表示されます。



**2** 入力切替ボタンを押して、再生する機器を選ぶ。  
入力切替ボタンを押すごとに次のように切り換わります。  
→ BS MUSE 入力 → MUSE 入力1 → MUSE 入力2

**3** つないだ機器を再生する。

# MUSE機器の種類を表示する

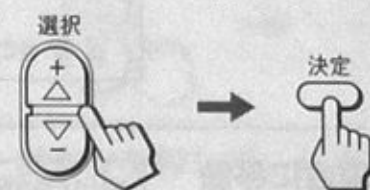
本機に2台以上のMUSE機器をつないだ場合、あらかじめ、入力端子ごとに接続した機器の表示を書き換えておくと、画面表示で確認することができます。便利です。

**1** メニューボタンを押して、メニューを出す。



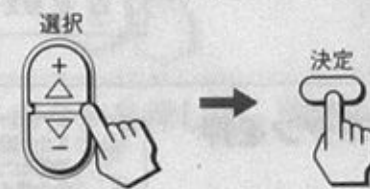
▶ MUSEラベル  
MUSE出力設定  
録音設定  
△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

**2** 選択+/-ボタンを押して、▶を「MUSEラベル」に移動し、決定ボタンを押す。



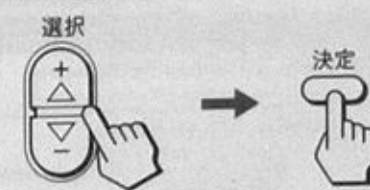
MUSEラベル  
▶ BS MUSE BS MUSE  
MUSE1 ハイビジョンLD  
MUSE2 ハイビジョンVTR  
メニューに戻る  
△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

**3** 選択+/-ボタンを押して、▶を設定したいMUSE入力端子名に移動し、決定ボタンを押す。



MUSEラベル  
BS MUSE▶BS MUSE  
MUSE1 ハイビジョンLD  
MUSE2 ハイビジョンVTR  
メニューに戻る  
△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

**4** 選択+/-ボタンを押して、設定したいMUSE機器名を選び、決定ボタンを押す。

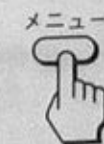


MUSEラベル  
BS MUSE BS MUSE  
▶ MUSE1 ハイビジョンLD  
MUSE2 ハイビジョンVTR  
メニューに戻る  
△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

選択 (+/-) ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

→ BS MUSE ↔ MUSE 1 ↔ MUSE 2 ↔ ハイビジョンLD ↔ ハイビジョンVTR ←

**5** メニューボタンを押して、メニューを消す。





# MUSE出力を設定する

つないだモニターやビデオ機器の入力映像信号形式に合わせて、本機の映像出力の信号形式を設定する必要があります。またつないだモニターで、色の濃さや色合いを調整できない場合は、本機で微調整することができます。

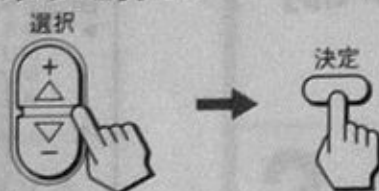
## 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。



▶ MUSEラベル  
MUSE出力設定  
録音設定

△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

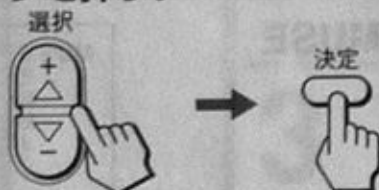
## 2 選択+/-ボタンを押して、▶を「MUSE出力設定」に移動し、決定ボタンを押す。



MUSE出力設定  
▶ 映像出力 Y.P.P.  
色の濃さ 標準  
色あい 標準  
メニューに戻る

△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

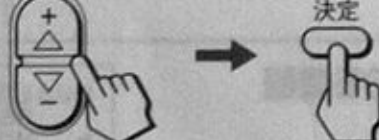
## 3 選択+/-ボタンを押して、▶を設定したい項目に移動し、決定ボタンを押す。



MUSE出力設定  
映像出力 Y.P.P.  
▶ 色の濃さ 標準  
色あい 標準  
メニューに戻る

△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

## 4 選択+/-ボタンを押して、設定を選び、決定ボタンを押す。



MUSE出力設定  
映像出力 Y.P.P.  
▶ 色の濃さ 標準  
色あい 標準  
メニューに戻る

△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

各項目の設定は下表のように変わります。

項目	設定
映像出力	YPbPr ↔ RGB1 ↔ RGB2
色の濃さ	薄い ↔ 標準 ↔ 濃い
色あい	赤2 ↔ 赤1 ↔ 標準 ↔ 緑1 ↔ 緑2

## 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。



### 映像出力の設定について

YPbPr (3値同期信号付きYPbPr信号)、RGB1 (同期信号なしRGB信号)、RGB2 (3値同期信号付RGB信号) のいずれかを、つないだ機器に合わせて切り換えてください。

### 色の濃さ、色合いの調整について

- 「映像出力」で「YPbPr」を選んだときのみ、調整することができます。
- モニター用映像出力のみ微調整することができます。

#### ご注意

VTR運動待機中または運動中は、メニュー内の「MUSEラベル」のみ、設定が可能です。

# 予約録画の内容を設定する

本機にはVTR運動機能が付いているため、ハイビジョン放送の予約録画ができますが (20ページ)、あらかじめ以下の予約録画に必要な設定を行ってください。

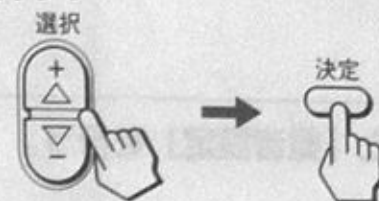
## 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。



▶ MUSEラベル  
MUSE出力設定  
録音設定

△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

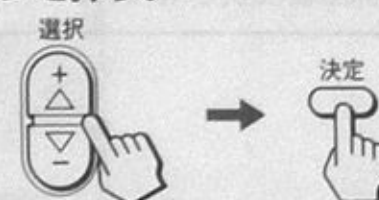
## 2 選択+/-ボタンを押して、▶を「録音設定」に移動し、決定ボタンを押す。



録音設定  
▶ 入力モード BS MUSE  
出力モード 2CH  
テレビ/独立 テレビ  
二重音声 主  
メニューに戻る

△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

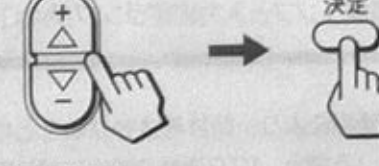
## 3 選択+/-ボタンを押して、▶を設定したい項目に移動し、決定ボタンを押す。



録音設定  
▶ 入力モード BS MUSE  
出力モード 2CH  
テレビ/独立 テレビ  
二重音声 主  
メニューに戻る

△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

## 4 選択+/-ボタンを押して、設定を選び、決定ボタンを押す。



録音設定  
▶ 入力モード BS MUSE  
出力モード 2CH  
テレビ/独立 テレビ  
二重音声 主  
メニューに戻る

△ ▽ 設定 (決定) 実行 (メニュー) 終了

各項目の設定は下表のように変わります。

項目	設定	目的
入力モード	BS MUSE ↔ MUSE 1 ↔ MUSE 2	録画したい機器がつかないである端子を選ぶ
出力モード	2CH ↔ 5CH ↔ 4CH	音声出力形式を選ぶ
テレビ/独立	テレビ ↔ 独立	テレビ音声か独立音声かどちらかを選ぶ
二重音声	主 ↔ 副 ↔ 主/副 ↔ 副2 ↔ 副3 ↔ 主/副2 ↔ 主/副3	二重音声を選ぶ

## 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。



独立音声や二重音声放送でないときに、「独立」または「二重音声」の項目を設定した場合自動的にテレビ音声のステレオ、またはモノラルになります。

#### ご注意

1996年1月現在、業務用を除いて、4CH、5CHで録音できるビデオデッキはありませんので「出力モード」は2CHを選んでください。また、映像信号がRGBで録画できるビデオデッキもありません。



# 予約録画する (VTR連動)

BSチューナー内蔵のハイビジョン (ベースバンド) ビデオデッキを、本機のACアウトレットにつないでおくと、ビデオデッキに電源が入ったときに本機にも電源が入るようにできます (VTR連動)。ビデオデッキでタイマー予約をしておけば、ハイビジョン放送の予約録画ができます。ことなくビデオデッキの取扱説明書もあわせてご覧ください。

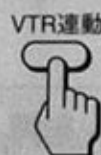
## 1 本機とビデオデッキを正しく接続する。(10ページ)

## 2 ビデオデッキで録画予約の設定をする。

## 3 メニュー画面を出して「MUSE出力設定」と「録音設定」を行う。(18~19ページ)

VTR連動が動作中は、映像・音声は本機のメニュー画面で設定した状態で出力されます。

## 4 VTR連動ボタンを押す。



VTR連動ランプが点灯します。ビデオデッキの電源が入ると、電源ランプと入力固定ランプが点灯します。

これで、ビデオデッキの電源が入ると、自動的に本機の電源が入るようになります。本機の電源が入っている場合は、映像・音声メニューの設定状態に自動的に切り替わります。

### 予約録画が終わると

本機の電源は切れ、VTR連動ランプのみ点灯します。

### VTR連動を解除するには

VTR連動ボタンを押します。VTR連動ランプと入力固定ランプが消え、電源が切れます。

### VTR連動についてのご注意

- VTR連動待機中 (VTR連動ランプが点灯し、ビデオデッキの電源が切れている状態) は、通常通り本機を操作できます。ただし、メニューの「MUSE出力設定」と「録音設定」は行えません。
- VTR連動動作中 (VTR連動ランプが点灯し、ビデオデッキの電源が入っている状態) は、本機を操作することはできません。
- メニューが画面に出ているときは、VTR連動ボタンを押しても動作しません。メニューを終了させてから、VTR連動ボタンを押してください。
- VTR連動待機中または連動中は、メニュー内の「MUSEラベル」のみ、設定が可能です。

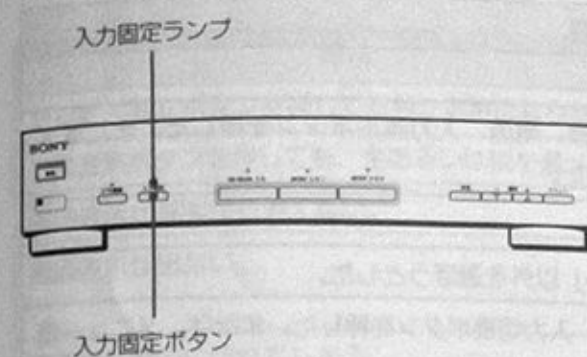
- 時報により、時計を合わせることでできるビデオデッキをつないでいる場合、VTR連動待機中に設定時間以外に本機の電源が入ることがありますが、しばらくすると、もとのVTR連動待機状態に戻ります。

### ビデオデッキについてのご注意

- ビデオデッキに付いているACアウトレットには何もつながないでください。本機の故障やVTR連動機能の誤動作の原因となります。
- 電源入/切時の消費電力の差が少ないビデオデッキなど、種類によっては正常にVTR連動による予約録画ができない場合があります。そのような場合には、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

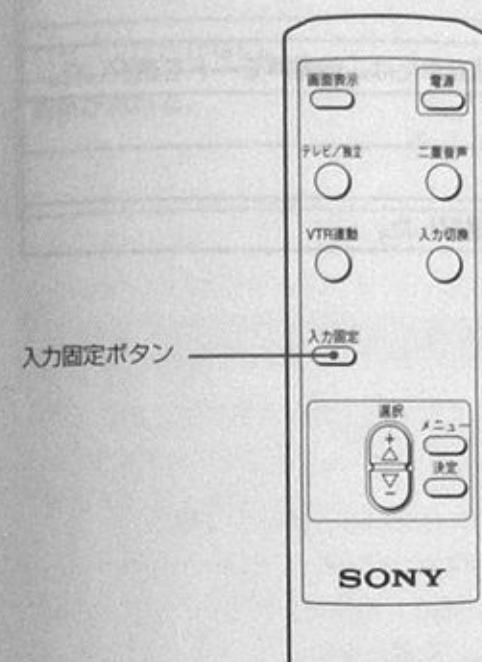
# 入力を固定する

入力を固定すると、編集作業中の誤操作を防ぐことができます。



## 入力固定ボタンを押す

入力固定ランプが点灯します。テレビ/独立、二重音声、入力切換ボタンを押しても、切り換えることができなくなります。また、メニュー画面の「録音設定」の中の「出力モード」も切り換えることができなくなります。



## 入力固定を解除するには

入力固定ボタンを押します。入力固定ランプが消えます。

入力固定中にVTR連動 (20ページ) が動作すると、VTR連動が優先されます。



次のようなメッセージが必要に応じて画面下部に表示されます。

ガイド表示	内容
MUSEではありません	入力がMUSEではない。
VTR連動動作中です	VTR連動中にテレビ/独立、二重音声、入力切替、電源、入力固定ボタンを押した。またはメニュー画面で「MUSEラベル」以外を選ぼうとした。 VTR連動待機中から連動になった。
VTR連動待機中です	VTR連動待機中にメニュー画面で「MUSEラベル」以外を選ぼうとした。
入力固定中です	入力固定状態のときに、テレビ/独立、二重音声、入力切替ボタンを押した。または、メニュー画面の「録音設定」の中の「出力モード」を切り換えようとした。 入力固定ボタンを押して入力固定状態にした。
2CH、5CHの時のみ選択できます	録音設定で出力モード4CHを選択しているとき、テレビ/独立または二重音声モードを選択した。
二重音声はありません	二重音声のない放送のとき、二重音声ボタンを押した。
独立音声はありません	独立音声のない放送のとき、テレビ/独立ボタンを押した。
YPbPr選択時のみ選択できます	RGB1、RGB2を選択しているとき、色の濃さ、色合いを選択した。

修理にお出しになる前にもう1度点検してみましょう。

症状	原因/処置
テレビ/独立ボタンを押しても独立音声にならない。	テレビ音声の放送しかないときは独立音声は選べません。
二重音声ボタンを押しても、主あるいは副を選べない。	二重音声がないときは、主/副音声を選べません。
画面表示が画面から消えない。	リモコンの画面表示ボタンをもう1度押してください。
画面表示が出ない。	ビデオ用映像出力端子にモニターをつないでいませんか？画面表示はモニター用映像出力端子のみに出力されます。
電源が自動的に切れてしまう。	VTR連動になっていませんか？再び本体の電源スイッチで入れ直してみてください。
リモコンがきかない。	電池がきれていませんか？(9ページ)
画像が流れる。	メニューの「映像出力」で、「RGB1」を選んだときは、映像信号に同期信号が付加されていないので、モニターによっては、画像が流れることがあります。モニターの仕様をお確かめください。



# 主な仕様

## 入出力

映像出力	ピンジャック (2系統)
	YPbPr形式
	Y: 三値同期付 1.0Vp-p 75Ω
	Pb: } 三値同期付 ±0.35Vp-p 75Ω
	Pr: } うち同期信号 ±0.30Vp-p
	GBR形式
	G: 0.7Vp-p 75Ω
	B: } 三値同期付 (Sync on Green) :
	R: } RGB2
	三値同期なし: RGB1

音声出力	5CH (ピンジャック) (2系統)
	: モニター用音声出力 (5CH固定)
	: ビデオ用音声出力 (5CH、4CH、2CH切り換え式)
	平均出力レベル 250mVrms
	(Fs-18dB 1kHz時)
	最大出力レベル 2.0Vrms
	出力インピーダンス 1kΩ以下

デジタル音声出力	同軸: ピンジャック (EIAJ)
MUSE入力	ピンジャック 75Ω 0.4Vp-p (FM)
	(3系統) 0.8Vp-p (AM)
ビットストリーム出力	ピンジャック 75Ω 0.5Vp-p
AFC出力 (2系統)	ピンジャック 75Ω 0.5Vp-p
HD出力	ピンジャック 75Ω 1.0Vp-p
VD出力	ピンジャック 75Ω 1.0Vp-p
コントロールS入出力	ミニジャック

\*EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。

## その他

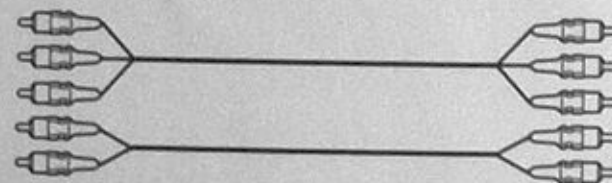
電源	AC100V, 50/60Hz
消費電力	30W (スタンバイ時 5.5W)
最大外形寸法	430×92×350mm
	(幅/高さ/奥行き)
質量	6.7kg
付属品	リモートコマンダー RM-J178 (1)
	乾電池 (SUM-3 単3) (2)
	HD音声ケーブル (2)
	HD映像ケーブル (1)
	検波接続ケーブル (1)
	AFC接続ケーブル (1)
	取扱説明書 (1)
	保証書 (1)
	ソニーご相談窓口のご案内 (1)

## リモートコマンダーRM-J178

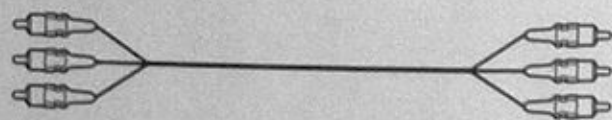
リモコン式	赤外線パルス方式
電源	DC3V
	乾電池 (SUM-3 単3) 2個
最大外形寸法	44×19×185mm
	(幅/高さ/奥行き)
質量	100g (乾電池含む)

## 付属のケーブル

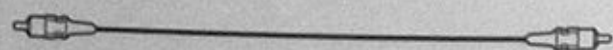
HD音声ケーブル  
(ピンプラグ3個×2、ピンプラグ2個×2)



HD映像ケーブル  
(ピンプラグ3個×2)



検波接続ケーブル (黒)  
AFC接続ケーブル (黒)  
(ピンプラグ1個×2)



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使用になれません。

# ハイビジョンについて

## ハイビジョンとは

ハイビジョンは現行のテレビ方式に対して、より高精細で臨場感のあるワイドテレビとして日本 (NHK) で開発された次世代のテレビ方式です。

現行のテレビ方式との比較でハイビジョンの特長を簡単に表現すると次のようになります。

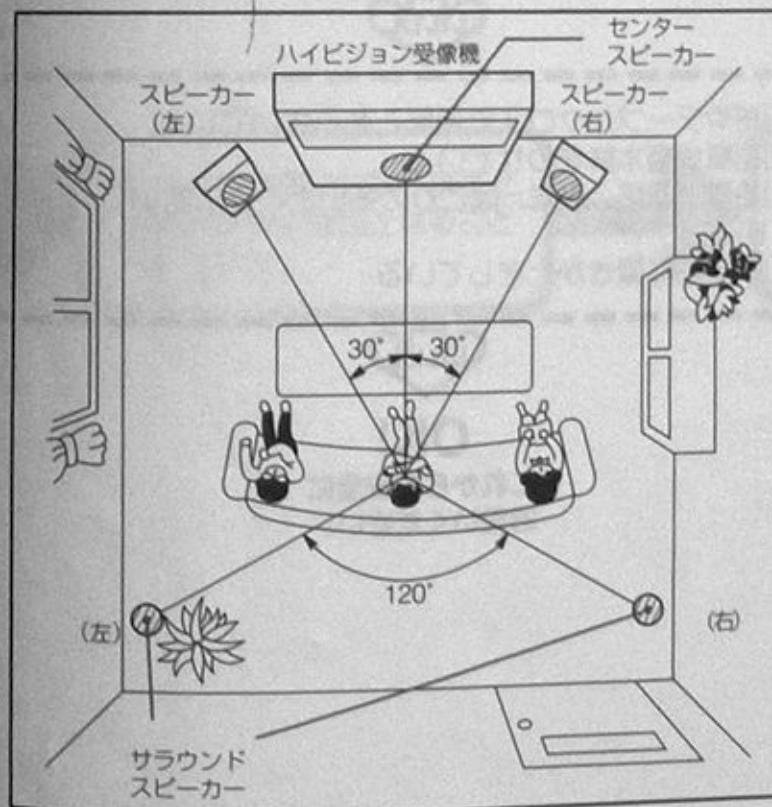
- 走査線が1125本と現行テレビの525本の2倍以上あり、画面がワイドになったことと合わせて現行テレビの約5倍の情報量 (細かさ) をもっています。その画質は35mmフィルムに匹敵するほど高精細になっています。
- 画面の縦横比は9:16 (現行テレビは3:4) と横長で、映画の画面とほぼ同じ比率になっています。そのため映画やスポーツ中継などに最適な画面が得られます。
- 画面の高精細化により最適視距離が近くなり、現行テレビが画面の高さの6、7倍であるのに対し、3倍の距離となります。これと画面のワイド化によって視野角がより広がり、臨場感・迫力が格段に向上します。
- ハイビジョンの音声は高い音質が得られるPCMで、臨場感にすぐれた4チャンネルステレオ方式や、ステレオによる2か国語放送を採用しています。

## ハイビジョン放送とMUSE方式について

ハイビジョンの原信号 (ベースバンド信号) は、非常に周波数帯域が広いためそのまま放送するには十数チャンネルの帯域幅を必要とし、現行の地上放送 (VHF、UHF) では信号を送ることが困難です。このため放送の信号帯域幅が最も広く、ハイビジョン放送を全国一律に届けることのできる衛星放送が最適の放送手段として採用されました。そこで、衛星放送の1チャンネル分の帯域幅に圧縮して伝送する技術が必要になりNHKで開発されたのが、MUSE方式です。

\*MUSEはMultiple Sub-Nyquist Sampling Encodingの略です。

## ■3-1方式4チャンネルステレオの基本的なスピーカー配置例





# 安全点検リスト

□印のチェック項目の中に1つでも「はい」があると危険です。そのときはすぐに対処してください。

## スタート

設置したらすぐにチェックを！  
そのあとの点検は1年に1度。

設置したすぐあとの  
1回目のチェックですか？

### チェックのしかた

▶ 点検日を下記の欄にご記入ください。

▶ 右図の矢印をたどりながら各項目の□にチェックしていきます。

▶ 故障内容（あれば）を下記にご記入ください。

### 点検日／故障内容

1回目、お買い上げ時

年月	
/	


2回目以降、1年ごと

年月	
/	
年月	
/	
年月	
/	
年月	
/	
年月	
/	
年月	
/	
年月	
/	
年月	
/	

いいえ


はい

□電源コードを動かすと、電源が入ったり切れたりする  
□電源コードが折れ曲がっている、キズついている  
□電源コードやプラグが異常に熱い




いいえ

□本体が異常に熱い  
□異常な熱や煙が発生したり、変な臭いや音（パチパチ）がする  
□通気孔から水や異物が入った形跡がある



いいえ

□たこ足配線している  
□電源コードが他のものの下敷きになっている



いいえ

□布やテーブルクロスで通気孔をふさいでいる  
□花瓶や植木鉢をのせている  
□油煙、湯気、湿気、ほこりの多いところに置いている  
□不安定な置きかたをしている

いいえ

OK!

これからも安全にお使いください。

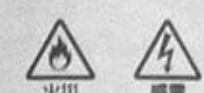
はい

はい

はい


はい

**警告**



そのままお使いになりますと火災・感電の原因となる場合があります。

① すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。



**プラグをコンセントから抜く**

② お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

そのままお使いになりますと事故の原因となる場合があります。

電源コードは専用のコンセントにつなぎ、上には何ものせないでください。

そのままお使いになりますと故障や事故の原因となる場合があります。

油気、湿気の少ない、換気のよい場所に置いてください。

残りの項目もチェックしてください。

その他



# 保証書とアフターサービス

## 保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## アフターサービスについて

調子が悪いときは まずチェックを	→ 「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。
それでも具合の悪いときはサービスへ	→ お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は	→ 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	→ 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをご知らせください。

**型名：MSC-4000**

**故障の状態：できるだけくわしく**

**購入年月日**

お買い上げ店  
TEL.

お近くのサービスステーション  
TEL.

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

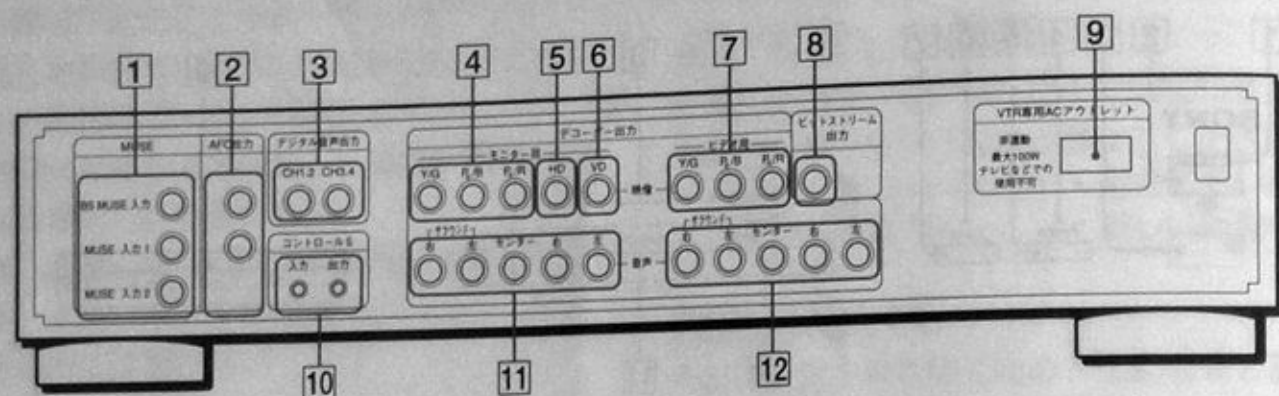
お問い合わせはお客先ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111



## 各部の名称と働き (つづき)

裏面



### 1 MUSE入力端子 (ピンジャック)

BSチューナーや、MUSE信号を出力するビデオディスクプレーヤーなどを接続します。

### 2 AFC出力端子 (ピンジャック)

BSチューナーなどのAFC入力端子と接続します。

### 3 デジタル音声出力端子 (ピンジャック)

CH1、2：ハイビジョン放送の1、2チャンネルの音声デジタルで出力されます。  
CH3、4：ハイビジョン放送の3、4チャンネルの音声デジタルで出力されます。将来の4チャンネルD/Aコンバーター内蔵アンプなどとの接続時に使用します。

### 4 モニター用映像出力端子 (ピンジャック)

ハイビジョン放送の映像信号を出力する端子です。MUSE方式で帯域圧縮された信号 (MUSE信号) が、もとのハイビジョン信号にデコードされ、出力されます。画面表示 (メニュー画面など) も出力されます。メニュー画面で出力する映像信号形式 (YPbPrまたはGBR方式) を選ぶことができます。

### 5 モニター用水平同期出力端子 (ピンジャック)

メニュー画面でRGB1を選んだとき、モニターのHD入力端子とつながります。

### 6 モニター用垂直同期出力端子 (ピンジャック)

メニュー画面でRGB1を選んだとき、モニターのVD入力端子とつながります。

### 7 ビデオ用映像出力端子 (ピンジャック)

ハイビジョン (ベースバンド) ビデオデッキの映像入力端子と接続します。メニュー画面で、出力する映像信号形式 (YPbPrまたはGBR方式) を選ぶことができます。

### 8 ビットストリーム出力端子 (ピンジャック)

音声の識別コードなど各種のデータを出力します。また、将来の新放送システムにも対応しています。

### 9 VTR専用ACアウトレット

- 本機のVTR連動機能を使って、ハイビジョン放送を予約録画するとき、ビデオデッキの電源プラグをここに近づけます。
- 本体またはリモコンのVTR連動ボタンを押すと連動機能が働き、VTRの電源に連動して本機の電源が入ります。
- 連動機能を働かないようにしておいても、このACアウトレットには何もつながらないでください。VTR連動機能が正しく働かない場合があります。

### 10 コントロールS端子 (ミニジャック)

**入力端子**：他の機器のコントロールS出力端子とつなぐことにより、他の機器から本機を操作することができます。  
**出力端子**：他の機器のコントロールS入力端子とつなぐことにより、本機にリモコンを向けて他の機器を操作することができます。

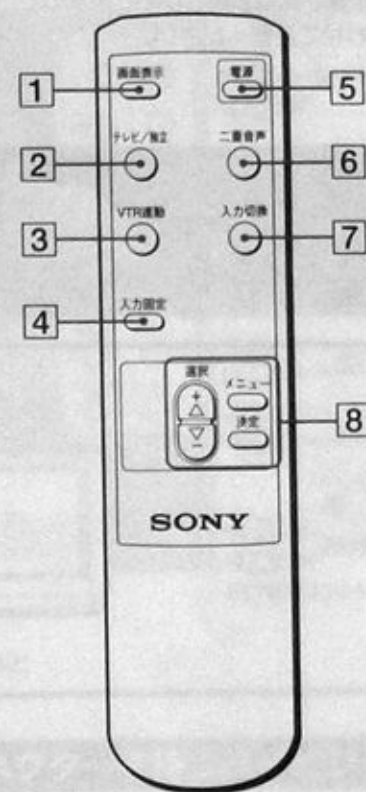
### 11 モニター用音声出力端子 (ピンジャック)

ハイビジョン放送の音声を出力する端子です。ハイビジョン対応のテレビ/モニター、オーディオ機器などにつながります。5入力の機器と接続すると3-1方式の4チャンネルステレオをお楽しみいただけます。右、左、サラウンド左端子にのみ接続した場合、右と左の端子からはサラウンドの右左音声、センター音声が合成されて出力されます。

### 12 ビデオ用音声出力端子 (ピンジャック)

ハイビジョン (ベースバンド) ビデオデッキの音声入力端子と接続します。メニューで出力する音声信号を選ぶことができます。

## リモートコマンダーRM-J178



### 1 画面表示ボタン

押すと入力モードの表示が出たままになり、音声モード表示は1度出て、2秒後に消えます。もう1度押すと消えます。

### 2 テレビ/独立ボタン

Aモードでテレビ音声と独立音声が発送されているとき、どちらかを選択するときに押します。

### △ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。

次のことは必ずお守りください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

### 3 VTR連動ボタン

ビデオデッキと連動させたいときに押します。VTR連動中は、リモコンと本体での操作はできません。もう1度押すと、VTR連動は解除されます。

### 4 入力固定ボタン

入力固定をするときに押します。もう1度押すと、入力固定は解除されます。

### 5 電源ボタン

電源を入/切するときを押します。

### 6 二重音声ボタン

二重音声放送のとき、主音声・副音声を選択します。

### 7 入力切換ボタン

MUSE入力端子につないだ機器を選択するときに押します。

### 8 選択+/-ボタン

メニュー画面で▶を動かしたり内容を選んだりするときに使います。

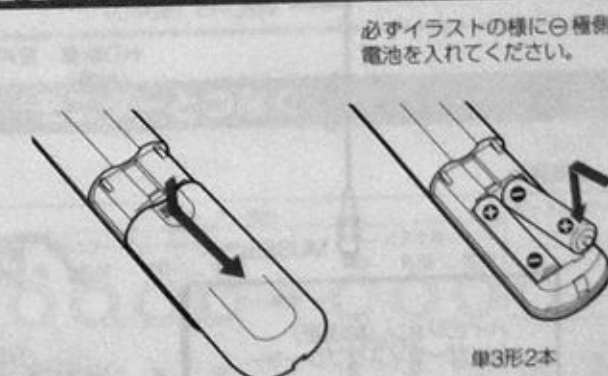
### メニューボタン

メニュー画面を出したり、消したりするときに押します。

### 決定ボタン

メニュー画面で、内容を決定するときに押します。

## 電池の入れかた



### 電池の交換時期は

ふつうの使いかたで約6か月もちます。電池が消耗するとボタンを押しても操作できないことがあります。

お使いになる前に